

2019/4/29 春の輪読会

1

第5回の リフレクシヨン

九州工業大学 林田将敬 吉田信将

理論の「プレゼンシング」がよくわからない

- ▶ 「まだ起こっていない未来に確信を持てる」とは？
 - ▶ 「枠組みへの執着や変化への恐れを捨てた」状態らしい
 - ▶ 「根拠はないけど自信がある」状態らしい
- ▶ 整理するために、アイデア出しの例として「Youngの発想法」を紹介します

プレゼンシングとは何か

- ▶ 「Youngの発想法」を利用して整理する
 - ▶ 努力の放棄をして、芽生えを待っている状態
 - ▶ 「耕す」からは、いったん手を話している
- ▶ その他、暗黙知の話題が上がっていたのでその話もします
 - ▶ Uの谷を潜る指針になっている

1. 前回の振り返り
2. プレセンシングとは
3. 暗黙知とは

アイデアを思いつく 3つのフェーズ

▶ 耕すフェーズ

- ▶ 情報を集め、かき混ぜ、つながりを見いだそうとするフェーズ

▶ 芽生えるフェーズ

- ▶ 情報を寝かせて、アイデアが生まれるのを待つフェーズ
- ▶ 管理できない

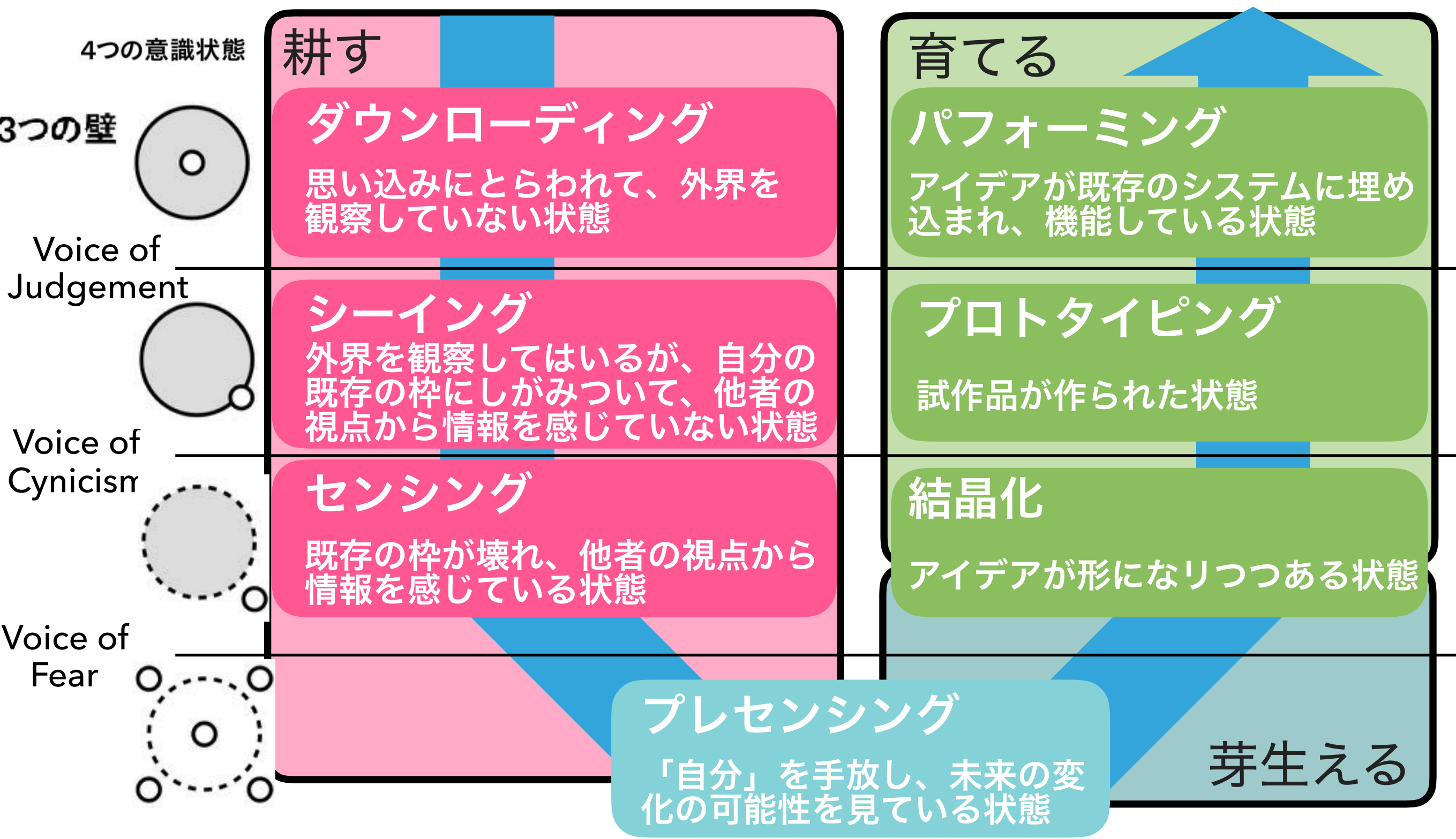
▶ 育てるフェーズ

- ▶ 生まれたアイデアを磨き上げていくフェーズ



3フェーズのイメージ図

U理論の詳細



1. 前回の振り返り
2. プレゼンテーションとは
3. 暗黙知とは

YOUNGの発想法

1. 資料集め
2. 資料の加工
3. 努力の放棄
4. アイデアの誕生
5. アイデアのチェック

YOUNGの発想法

耕す

1. 資料集め

2. 資料の加工

芽生える

3. 努力の放棄

4. アイデアの誕生

育てる

5. アイデアのチェック

1. 前回の振り返り
2. プレセンシングとは
3. 暗黙知とは

暗黙知の2種類の意味

▶ ポランニーの暗黙知

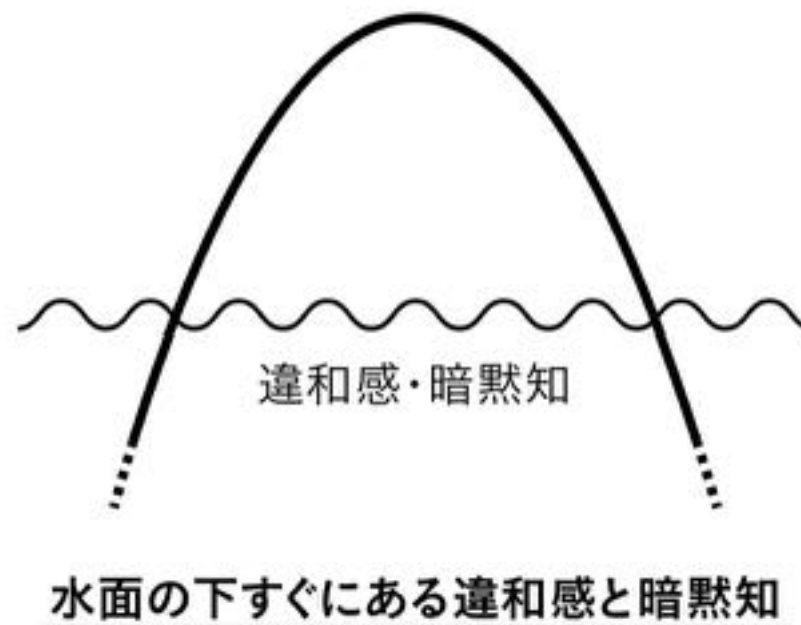
- ▶ 明示的で言語的な次元とは別の、暗黙的で非言語的な次元について語られたもの (p202のコラムより)
- ▶ 問題の解決に近づきつつある感覚
- ▶ 本で紹介されているのはこっち

暗黙知の2種類の意味

- ▶ 野中郁次郎の暗黙知
 - ▶ まだ言語化されていない経験的知識
 - ▶ 表出化することができるが、まだされてないだけ
- ▶ 組織内で知識を創造する時の議論
 - ▶ 個人の知識創造を、組織内の相互作用で促進する

暗黙知の本の中での位置付け

- ▶ 耕すフェーズで出てくる
- ▶ 抽象概念から身体感覚、メタファと掘り下げて、水面に近づいてきた
- ▶ 水面のすぐ近くにあるものとは？ ... 違和感や暗黙知



暗黙知をどう使っているのか

- ▶ コンパスとして使っている
 - ▶ U理論の谷を潜る時に、逆戻りしないための指針
 - ▶ KJ法で付箋が100枚ある時に100!通り試さなくていいのは、暗黙知のおかげ(かも)
- ▶ なぜコンパス足り得るのか...は話すと長すぎるので今日はやめます

プレゼンシングとは何か

- ▶ 「Youngの発想法」を利用して整理する
 - ▶ 努力の放棄をして、芽生えを待っている状態
 - ▶ 「耕す」からは、いったん手を話している
- ▶ その他、暗黙知の話題が上がっていたのでその話もしました
 - ▶ Uの谷を潜る指針になっている